京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐ可からず

◎明治四十四年紀元二千五百七十一年
本紙定價 ▲一枚金二錢▲一ヶ月前金三十錢▲三ヶ月前金九十錢▲六ヶ月前金一圓八十錢▲郵税一ヶ月十五錢
廣告料 ▲五號活字十七字詰一行一圓金五十錢▲一號欄外別欄は五號活字十七字詰一行金七十五錢
月曜日及び大祭日の翌日は休日(月刊)
發行兼編輯人 高水久太郎
印刷人 松久勝一郎
京城西小門通
發行所 京城新報社
電話六六三番振替口座京城四五六番
仁川宮町三丁目 電話二一一番
仁川支局
東京市京橋區南佐柄木町七番地
東京支局

雑報

●平壌通信

平壌實業協會書記長松本氏の談に依れば當地市場輸入材木の割合は各商人が各地より輸入せる材木數を假に十と見做し鴨綠江材其の六分を占め三分は大同江材(陽德孟山、寧邊等)殘り一分は内地材の割合なり從來は内地材の勢力は著しきものありしも其外見暴きを總督府の營林廠材を奬勵するとの結果最近二三年來鴨綠江材の勢力大に擴張せられ遂に内地材を驅逐するに至れり而して鴨綠材も一昨年頃までは既製材品のみ輸入せられしも昨年より漸く原木の儘輸入せられ當地に於て製材するもの漸く多きを加へたるが當協會にては目今之れが調査中にて未だ的確なる數を知る能はざるも最近一ヶ年間の輸入額(内地材、鴨綠江材、大同江材)五十萬圓乃至八十萬圓の間に在るの見當なり而して當市場に於て最も需要多きは紅松にして一才の價格十三錢八厘落松杉並十錢杉松八錢六厘位なり此の五十萬圓乃至八十萬圓の木材は主として如何なる方面に用ひらるゝかと云ふに歸官廳工事用に使用せらるゝもの多く又鑛業所杭木其他に用ひらる此の割合諸官廳六、鑛業所二民間二位の割合と思惟す如上の如き狀態にして平壌市における材木界は前途は益々有望なるを斷言して憚らざるなり云々

▲木炭價格と生産地　目下需要少なき時期なるも各商店とも品薄の爲め頗る高價を唱へ居れるが六月より七月に掛けての小賣相場及生産地別を示せば左の如し

産地	品質	價格
新幕	白炭一貫目	八錢四厘
馬洞	同　同	八錢八厘
興水	同　同	八錢八厘
成川	同　同	八錢
慈川	根炭同	十錢
南川	同　同	九錢
定州	同　同	十錢

即ち右の如くなるが新幕、馬洞、興水成川の白炭は主に官廳側に用ひられ根炭は一般民間の需要多きが如しと云ふ(〇△生)

●土地調査と鮮人

先般水原及大邱地方に於ける土地調査の状況調査のため出張したる某氏の談によれば土地調査に關する鮮人の意向は近來著しく變化し現在にては好んで土地の丈量を諦ふ有様にて測量の際等自ら出で標杭を建て測量綱を張る等實に甲斐々々しく便宜を與ふるに努めつゝあるが畢竟右は所有權を確認し置きたしとの希望より出でたるものと察せらるゝが斯くの如き狀況にて進行せば或は全道の調査事業も意外に早く終了するならんかとの事なり

●平北龍川堤防破壊　去月二十七日平北龍川郡楊西面の堤防約五十間大潮の爲め破壊し水田四百七十斗落余部浸水したるに付龍岩浦警察署よりは巡査を派遣し應急工事中なり

●龍川郡の浸潮被害　平安北道龍川郡にては去月二十七日正午頃同郡楊西面の堤防五十間餘大潮浸入のため破壊し水田四百七十斗落全部浸水し其損害少なからずと云ふ

●故嚴妃魂殿の設置　既報の如く故嚴妃の謚號は純獻と稱し中正精粹日純擔忠内德日献の意より來りしもの由にて實碑は威寧殿の傍に設置し之を德安宮と云ひ三年間は嚴妃生前と同様の擧祀となすものなりと

●朝鮮下向記(四)

マンモース

憶ふ昔千三百年前、若草山の麓、春日社頭の驟鹿を友として櫻かざしつゝ今日も暮したる奈良朝の大宮人の春の夢も猶淀かなら曉かけて數万の夷狄潮の如く押し寄せ見る間に逃げ惑ふ女小供を打ち倒し壯夫は之を奴僕に下し壓迫酷使社會の下層に沈淪せしめたる有様を胸に空想すれば坐ろ京城の陋巷に喧嘩せる二十萬の鮮民を目のあたり見る様であらう。冠髪と云ひ履物と云ひ女の被打ち着ける様や袴など或は總角や髪の結ひ方、顔の平面的なる迄相似たる様に思はるゝのみならず、崩れ落つる壁の香も屋根の型も今にして見る廢墟の奈良の裏通り其儘の感あらしむるのである。思ふに支那隋唐の文明は古代三韓を經て我國に入り奈良朝の文明を興したるも爾後生々たる國民の元氣は寸時も停滞せずよく同化し發展して今日の隆盛を來したるに一方同様、寧ろ以上の惠澤に浴したるに關はらず醉生夢死千年前の俗を更めず昔し乍らの奈良朝にして今亡國の淵に沈むもの之今の朝鮮にあらざるなからんや。易風移俗と云ひ渾融同化と云ふ僕甚だ危ぶむ。若しも我國維新當時外交折衝策を誤つて明治初年の頃から内地雜居となり其間假りに支那が内治整服して余力を我國に向けざりしならば移民して來たと想像すれば何うなつたであろうか。一時は社會上の勢力は全部彼等に浸略されて或は此朝鮮に近似した形貌を呈したかも知れぬ。僕は社會的政治的朝鮮の敗殘には到底餘儀なき結果であると考へるけれども唯經濟的には大に努力を切望するのである。日本人中には或は經濟上無力なることそよけれと思ふ人もあるかも知れぬけれどもそれは大國民の抱擁的精神を缺くと云はなければならぬ、彼等の富は又等しく我日本の富である而して同時に朝鮮開發の關鍵であるのである。朝鮮は新開地でもなく實に殖民地でもない、人口は多過ぎるのである、彼等は生活程度を下げて收容し得らる極度迄増殖して居るのである、只此上は其勞働をより有利により豐富に使用して此填充せる鮮人の消費を増し生活程度の昂上に資しなければならぬと思ふ(了)

外事一束

△獨帝　須事耶堀の温泉に宰相耶蘇万賽植及外相と議す英相の意氣に呑まれ乎

△獨紙　酒々懸吃の演説に迎意し對佛摩擦係熱慮折衝す可しと慣用鬼面値鐵

△萬延　の練軍獨帝親しく乃木大將の爲に統監す酷暑御苦勞の沙汰を通越す

△獨佛　摩國懸案を抛棄し別に西部阿弗利加に領土交換を行可しと佛紙細論

△東郷　大將易頓停車場に英海軍省其他と熱別を遂げ巨船線太に乘じ米國航

△統一　党領袖發阿撰擧區民に告げ日否認權廢止反對繼續の示威は語不穩と

△加奈　陀議會解散米加互惠案を人民に訴ふ該案英米交誼を深し且英國不虐

△波斯　議會廢帝摩杜阿里及兄弟の爲に年金三十万を支給する建議を通過す

△漢口　居留地浸水し長江益溢水領事館は假棚にて聯絡す四十二年振の事と

△上海　に海軍造船所建設の命有り海提督薩鎮冰外國技師招聘すと屢々雑[illegible]

雑録

●病床より

花眠庵主人

◎夢に入り夢に醒め何にと以なしに過し方行末を想ひつゝ終日懸に耽けつて居る自分顧みるに自分は何の爲めに生き何の目的を得てせち辛い浮世に生存を味い生の繼續を願ひつゝあるのであるか!?

◎萬有を翻弄する運命なるものが几帳面に自分等人性に障害するとすればじや吾人は其運命に逆行して反旗を行路山頂に翻す事が不可能の事であろうか。誰が良く直截に吾人々性の運命なるものに明解の斷定を與へ呉るゝ者がなからうか。

◎然し浮世は大方逆七分に順三分と曰ふが眞實らしいとすれば矢張り吾人は袖手傍觀悠々徒食せんよりは勤勉向上自彊するの必要が生ずるのである

◎さる通人の君が曰ふた、浮世は河の廻り燈籠終身の筋骨がうづく程な腹の立つ事も少し遠ざかつて見れば左程でもないかられ可笑いと今更自分は曾呂利新君が羨やましい彌次、喜多閣下がこのましい

◎或る人か天地は逆旅とも見人生を一夢と觀ずるにも非ず彼れも一時是れも一時と諦むれば殊更に榮達を特意とし傲るの好事もなく失意として憂ふるの廢事もあらず落花流水風のまに〳〵任せんかな、と向ふたが自分は現代を超脱した此言辭と度量と胸襟が好きである、玆に於て高山博士の所謂吾人は須らく現代を超脱せざるべからずの意氣を想ふ

◎然し自分は超脱とか復活とか妙な香いのする所謂勝手口に這入るには慾氣と色氣と芝居氣が充溢りだ。

召使れ初

第百二十一回　桑法師



た察はれ道の鍼を引き下ると共に、心はいら〳〵と燃ひ付く如し、今のはどは主を後に宿下りするが、何さ無く悉く名残惜く、宛ら生血を絞らるゝやうに感じて、背後に父の大病を控へたるをさへ忘れたる程なりしが、一たび次の室へ歸りては、氣に父の事氣に繋りて、衣服着換ゆる間ももどかし、兄上殊さら迎ひに來させたまひたる程なれば、御容体の宜からぬは云ふまでも無し、日が暮までは折さ道ならねど、街を飛んでも歸るべし、御門限に外るゝ事なきか、まだ時刻はありと思へど、こゝより日ヶ窪まで駆け行く間に、毛利様御門の締ることもありてはなるまじ羽翼欲や虚空を翔ける羽翼欲しや、と口の中に云ひながら、お緑外の暑影を見れば、秋の日の暮れ易く、早や夕陽は淡かりき

後の取方付、御夕飯の準備、當番詰合衆へのお届、夫や是やに手間取りてお草履急しくお切手門を出でんとする時、門限を告ぐる拆木高く鳴り渡る

「お、御門限ぢや、早や御門限ぢや」

お察は反返るやうにして、御門口へ駈け付けしが、時は已に後れたり、門番せる老人は、憎さげに空を嘯きて

「誰ぢや、お還さま召使か、不憫さうに何處へ行かうとぢや」

「お願ひでござります、私を通して下さりませ、一生のお願ひでござります」

「そりや爲らぬ、そなた一人の都合許お爲めに掟を亂すことは爲らぬ、それとも退引ならぬお上の御用か」

「お上御用ではござりませぬ、私父大病の知らせでござりまして、旦那様へお暇願ひ、只今これへ駈け參つた處ござりますれど、お通し下さりませ、御門限は忘却致しませぬ」とお察は兩手を合せて頼みぬ

「此方もお奥に勤めながら、御門締の刻限を知らぬとは何事ぢや、正六時には切手御門、表門、裏門までお締り、誰人も出入は協はぬは、云はずとも知れた事で無いか」

「其處をお慈悲に、私をお助け下さりませ、今日の中に歸りませいでは父の病氣、何のやうな參る事かも知れませぬ」

「左様な身勝手は協ぬことぢや」

「此處には旦那様お情、お下げ下された結構な御符もござります、結構なお香もござります、早う父様お目に掛けたうござりますで、お慈悲お情でお通し下さりませ、お通し下さりませ」

ぴたりと合せて伏拜む手の上へ、熱い涙たら〳〵注ぐ、されど番門に涙なかりき

「お前にも似合はぬ、怪しからぬことと云ふのう、假へ私の計ひで、この御門を通しても、この先にまだ表御門がある、表御門の御番衆は、私のやうな老年で無い、お目付以上のお侍、そなたの手が擦り剝けても一たん鎖した御門の扉をお開けなさる筈は無いで、明日の事にさつしやれ、明日の朝の正六時には、そなた頼み無くても開く、一夜の事で孝行に外れる氣遣ひない、諦めさつしやれ〳〵」

今は取り付く島も無く悵然として、夕陽の中に立ちき

「これはどこにお願ひしても、お聞き入れ下さりませぬ瑕」

「お屋敷の掟は破れぬ、明日の朝まで待たつしゃれ」



京城新報

寺内總督を送る

專任となつて歸れ

寺内總督は、半島統治の要務一先づ片付きたりとて、五日王世子陪行東上の途に就かる、吾人は寺内總督が半島に駐まつて政務を視る期間の常に短かきを憾みとするものなり、併し寺内總督にして一方の肩に陸軍大臣の重職を擔ひをる限りは、これ已むを得ざる事ならむも、之をして今後に續けむとするは、半島統治上の一大不利益たるや些しの疑を容れざるなり。

半島統治の事たるや、決して片手間にて爲し得可き程容易なるものにあらざるなり、專ら其局に當りて尚難きを感ずる迄もなく、識者の夙より知了せる所なり。然るに統監時代より今日に及びて、半島統治首腦者の半島に在任せることの稀なるは、之を他國の屬領土統治者が骨を任地に埋むるの覺悟を以て事に當れる熱心に比し、頗ぶる慊焉たらざるを得ず、尤も統監時代は今日と其事情を異にし、統監不在に因て來れる影響も亦今日程に大ならざるも、併合後にあつては然らず、統治首腦者の任地に不在勝なるは、是れ健全なる統治に病を醸さむとするものにして危險や實に測る可からざるなり。

今や半島の統治漸く緒に就き、今後に於ては之が完美を徹すると共に、健全なる發達を期せざる可からず、而かも健全なる發達は、總督が常に任地にあつて、堅忍不拔、勉勵倦まず、將た一毫の私心無く、至誠事に當り、被治者をして其德に服せしむるの覺悟なくむば能はざるなり。西洋の古諺に曰く、「殖民地移住者は必らず木を植へよ」と、這は即ち殖民地經營を植樹に譬へ植樹の生長遲々たるものあるも、培養宜しきに適へば終に用材として世を益するに至る、殖民地移住者亦此植樹培養の心を失はざれば其成功を見るべきを諭へしものにして、言句簡なりと雖も意味深長なり。半島の治者被治者共に此古諺に顧みる所なくして可ならむや。

或者は云ふ、寺内總督は權勢に憧憬れて、容易く陸相の印綬を解くが如きことなかるべしと、若政局變轉に因りて地位の動くことあるも、他に更に要職を求めて、朝鮮總督は依然兼任たらむと、這は寺内伯の人格を誤解せるの甚だしきものにして、吾人は聞く信ずる能はず、權勢に戀々たるものにして其終を全ふせし者無きは寺内伯の能く知る所なり、吾人は切に朝鮮總督專任を冀望し、今又、寺内總督東上に際し、此言を爲す所以のものは、寺内伯が專任朝鮮總督となつて一日も早く歸任せむことを望むが爲なり。

東京電報

▲**練習艦來鮮期** 本年度海軍機關學校卒業生練習艦津輕は今四月横須賀解纜し來年三月一日横須賀に歸着の豫定なるが九月二十三日釜山に二十六日鎮海灣、十月九日仁川に到着十一日仁川錨拔夫れより南清臺灣を經て歸港す

▲**澳門境界問題** 澳門境界問題に關し淸國政府と葡萄牙國政府との間に紛爭を生じ國交破裂せんとするの報あり

▲**陸軍部の職員** 朝鮮總督府官制改正に關し朝鮮駐箚軍司令部條令を廢止し朝鮮總督府陸軍部を設置する事となり本月下旬發表する筈なるが其結果參謀長以下駐箚軍司令部職員は其儘陸軍部の職員に補せらるゝ筈なれば諸條令は漸次改正せらるべきも現職員には太したる變動なかるべしと

▲**桂首相の歸京** 桂首相は三十日迄輕井澤に滯在の筈なりしも三日急に歸京せり

▲**遣英宮御消息** 東伏見宮同妃兩殿下の御一行は二日古倫母着三日同地發航の旨其筋に公電ありたり

▲**淸國實業團渡來期** 淸國實業團一行五十名は來る十月廿四日上海發二十六日長崎に到着すべし

▲**大博と外人旅館** 大日本大博覽會事務局にては多數外人來遊すべきを豫期し其の宿泊に充つる旅館を調査したるに百九十三戶、此の收容人員四千三百〇四人に過ぎざるを以て其他の設備に就き苦心し居れり

▲**郵便爲替條約** 日本政府は印度滿洲其他と郵便爲替條約に就き交涉を開始せり

▲**朝鮮牧師團歡迎** 朝鮮牧師團は入京につき各方面に於て非常に歡迎されつゝあり三日海軍大學帝國大學及芝離宮等を參觀し七日迄滯在の豫定なり一行元氣佳し

▲**濟生會役員の發表期** 濟生會役員は五日頃發表さるゝ筈なり

▲**英政府の謝意** チャイナ號遭難に際し我海軍が救援せし好誼に對し英政府より謝辭を送れり

雜報

●**寺内總督出發** 寺内總督は五日午前七時三十分南大門驛發臨時列車にて外波少將、桑原秘書官、藤田副官を随へ東上に決す尚國分人事局長は馬關まで見送り同地にて一行に別れ直に歸任する筈なり

●**總督の旅程** 寺内總督一行は五日午前七時半南大門驛發東上同日午後五時釜山驛着直に梅ケ香丸に搭乘六日午前七時下の關着上陸して王世子殿下を停車場に見送同地に暫く休憩の後午後三時弘濟丸に乘船瀨戶内海を東航し七日舞子に上陸し直に汽車にて京都に赴き一泊して翌八日午後夜行列車に乘り九日午前九時新橋驛に到着の豫定なりと

●**王世子の旅程** 王世子殿下の一行は別記の如く六日午前七時馬關にて寺内總督と分れ汽車にて宮島に赴き同地一二泊の上更に陸路東上の豫定なりと

●**寺内總督警護** 寺内總督東上に就き憲兵司令部よりは加藤中尉下士一名上等兵四名下關迄隨行せしむる由

●**寺内總督送別宴** 寺内總督は五日發東上に付昌德宮李王同妃兩殿下には四日午前十一時半より寺内總督の爲めに同宮に於て送別の宴を開かれたるが其の出席者は李王同妃兩殿下王世子殿下李堈李熹の兩殿下寺内總督、大久保軍司令官、山縣政務總監、松永師團長、閔長官、小宮次官、李完用伯、朴齊純李容植の兩子爵外波少將、國分局長、兒玉、桑原の兩秘書官、中山大佐の諸氏約四十名にして盛會を極めたり

●**長官會議休會** 今四日は定例長官會議日に相當するも都合により休會したり

●**王世子の獻上品** 王世子殿下は愈々五日御出發御東上につき我帝室へ御土產として御獻上のため銀花瓶其他數品を漢城美術品製作所より買上げありたり

●**李太王の下賜品** 李太王殿下には今回王世子殿下の學友四名に對し銀側懷中時計を其他隨員一同に對し双眼鏡インキスタンド及金鎖等夫々御贈與相成りたりと云ふ

●**王世子の墓參** 王世子殿下は四日午前八時卅分豫報の如く石造殿出門九時五分永徽園御着御墓參あり終りて十時昌德宮に立寄られ李王殿下の催ふしに係る午餐會に臨まれ一時過歸殿ありたり

●**東拓移民の縣別** 既報の如く東拓會社第二回の移民應募戶數は二日迄に總計五百戶なるが之を縣別に記すれば長崎を首位として佐賀山口福岡高知之れに亞ぎ福島岩手北海道邊は至つて少數なりといふ尚移民の趣旨を徹底せしめんため九州以外北陸方面に一名岐阜より東北地方に掛け一名の社員を派出し居る由

●**京元線の工事** 京元線工事は昨年十月京城を基點として起工し只今は土工は鐵原迄又線路布設は十一月頃には議政府迄約二十哩の開通を見るべしと云ふ測量の全部終了するは九月中なれども沿線大体の模樣を聞くに通過部落の重なるものは淸涼里、議政府、高浪、漣川、鐵原、平康、土城等にして何れも頗る物資貧弱を極め山は皆赤く禿げ田畑は土壤不味にして僅に大豆麥を產するのみ鐵原以南は米を京城に仰ぐ有樣なるにても其一般を知るべし交通の不便に至つては言を俟たず議政府以北人力車殆ど通せず鐵道の開通ありとするも爲に遽に產業の隆興を期す可からず國道の抱川、金化、淮陽を經て元山に通ずる比較的富饒の部落を貫く道に沿はざりしは思ふに軍事上の目的に出でしものならんが之が爲に京元線の經濟的效用は殆ど其半を滅じたりと謂ふべし猶工事の最も困難なるは土城邊なるも此外に各種材料及食物等の運搬の爲に新たに道路を築造する等意外の費用を要するを免れず因に大体の工費を揭げんに線路布設費千三百九十萬圓車輛其他經費二百三十五萬圓計千六百二十五萬圓全延長百三十五哩にして一哩當り十二萬圓之を京釜線の約八萬圓に比し一哩に付四萬圓の增費なり猶四十七年の全部開通の豫定にて其曉は京元間約七時間位ならんと

●**清津埋築工事** 清津港第二期埋築工事は一兩日中に着手する旨其の筋に通報ありたり

●**廣島觀光團入京** 廣島朝鮮觀光團の一行四十餘名は四日午后八時十分南大門驛着入京夫々指定の旅館に投宿の筈なり

●**夏季講習會終了** 去る二十六日以來日の出小學校に於て開會中なりし各道內地小學校教員夏季講習會は四日を以て終了し會員は何れも一兩日中に夫れ〳〵任地に歸任すべしと

●**敎員講習會場** 來る六日より開始すべき公立普通學校敎監講習會場は日の出小學校に決定したり

●**鴨江架橋工事** 今回の洪水により鴨綠江開閉橋の重要機械全部を水中に失ひたる爲め工事の竣成に豫期を失ふことなきやとは一般に憂慮する處なりしも水中探查の結果大機器は大半發見されたるを以て不足の分は之れを八幡製造所に注文の爲め同所より今回技師を急派したる由にて十月下旬までに竣成し天長節の開通式には無論支障なかるべしと

●**地方道路工事** 本年度の道路工事中清津會寧線は目下起工準備中城津惠山鎭、安州、滿浦鎭、江界、利川、長湍院及京城、元山間の舊道一部改修の各線は何れも踏查準備中にして其他平壤元山線、順天金州線等は一部測量濟にして目下起工手續中なるが總距離百十七里十八町なり昨年度より繰越に係る分は總距離百三十五里二十八町中竣工したるもの九里に過ぎずと云ふ

●**三井の山林注目** 既報の如く三井鑛山部にては朝鮮に於て山林經營の計畫あり同山林課長柴田兼吉氏は實地視察の爲め六月下旬渡鮮忠淸南道全羅南北道江原道黃海道の各所にいたり大略の見聞を遂げたるが小區域のものを除きては一として思はしき個所なく又縱し着目に値する個所ありとせんも多くは官有民有の區畫明かならず從つて着手の困難を感ずる次第なるが要するに當局に於ては山林の所在地を一日も早く詳細に調查し同時に濫伐の禁止を層一層嚴にし普通山林と保安林との別を立て且つ能ふべくんば臺灣樺太の如く山林の所在地を精查して內地の事業家に示めさんの方法を執り企業者の便宜を計るを要すとの事なり尙柴田氏は近々地方に赴き實地視察をなすべしといふ

●**旅團幹部演習** 北韓羅南駐屯旅團幹部演習は各隊より十四名宛を出し來る九月三十一日より十一日間咸興元山間に於て執行する筈なり

●**商議役員會問題** 京城日本人商業會議所にては四日午後二時より役員會を開きたるが重もなる問題は從來會議所内に置きこれが事務は會議所に一定せざりし京城商業組合の事務所を取扱ひ層一層組員相互の利益と商勢の發展を圖らんことに努むる事と他は近時商業界の利害問題漸く多く一例を擧ぐれば賦稅價格の不當商造りの不備等に調查研究を要するもの多きを以て會議所内に調查會を設け委員を撰んで時々會合し調查研究を爲すこと等なり

●**安奉線の全通** 過般の豪雨の爲め不通となりし安奉線は全力を傾注して修理に努めたる結果下馬塘より草河口百四十一哩の大子河南岸も一日午後六時に至り修理を了したるを以て三日より同線全部開通するに至る

●**大洋報の禁止** 浦汐大洋報社に於て發行する大洋報第一零第七號は治安に妨害するものと認められ朝鮮內に發賣頒布を禁示されたり

●**鮮人講習終了式** 去月廿四日より開會中なりし京畿道主催に係る鮮人敎師夏季講習會は六日を以て終了し終了式を擧行する筈なるが同日は午後一時より講習成績報告講習證授與檜垣長官訓示等あり式終つて一同茶話會を開く由なり

●**鮮人果實培養** 北門外造紙里附近の住民は果實を培養し生活の資に充て居れるが今月一日より京城市內へ賣り出し始めたるが每日七八十荷宛搬出し非常の好景氣なりと

●**葬儀事務所の解散** 嚴妃逝去以來德壽宮內に葬儀假事務所を設け執務中なりしが一兩日中殘務の整理を了し解散すべしと

●**木內氏出發** 前農商工部長官木內重四郎氏は既報の如く三日午後十時四十分南大門驛發にて歸東の途に就きたるが當夜の見送り者は山縣政務總監を始め李完用伯其他官公立軍人實業家宗敎家敎育家有志家新聞通信記者等各階級を網羅したる人々六百餘名にして停車場は近來になき雜踏を見たり因に同氏は四日朝大邱有志招待の朝餐會に臨み同日正午は釜山有志招待の晝餐會に臨まるゝとの事なり

●**齋藤大佐東上** 近衛師團司令部附大佐齋藤季次郎氏は四日午前九時南大門發列車にて東上したり停車場には明石少將其他多數の見送り有たり

●**閔長官の東上** 李王職長官閔丙奭子は事務官金東完氏を随へ王世子殿下に隨伴して東上する事に決したり

●**明石總長の見送** 明石警務總長は寺內總督見送りの爲め五日午前七時三十分南大門驛發總督の列車に搭乘し釜山迄出張する由

●**官吏の陞敍** 總督府判事中村敬直氏は高等官三等に總督府屬澤水彥四郎氏は營林廠事務官（七等）に陞敍されたり

●**小松長官の登廳** 小松總務部長官は微恙の爲め引籠中の處四日より登廳す

●**本多博士の入京** 元山方面より森林の狀況調查しつゝありし本多林學博士の一行は三日再入京されたるが多分明後六日頃歸東さるべしといふ

●**岡崎氏の東上** 日韓瓦斯電氣株式會社專務岡崎遠光氏は總會出席の爲め來る八月七日東上する由

●**中村判事の依願免官** 海州地方裁判所の部長判事中村縣直氏は今回高等官三等に昇敍し依願免官となれり

●**稻田仁川議員の辭職** 仁川居留民團民會議長及仁川日本人商業會議所副會頭たりし稻田勝彥氏は今回兩職を辭し專ら築港工事に全力を傾注し自身事業を率て指揮監督をなすべしと云ふ

●**稻田氏辭職と民會** 別項所載の如く仁川民會議員長稻田氏辭職せしにより民團役所に於ては近々の中民會を開催し議長の撰擧を行ふべしと

●**群山通信**（前號續き）

◎輸移入貿易は夫れ此の如く好景氣に有之候得共何と申しても當港は米穀の大輸出港なる丈夫れだけ輸移出振はざれば一般の市況活氣に乏しく何となく景氣引立ち不申候

◎隨て金融界に於ても米穀に對する資金の需要起らず當港の韓銀支店及十八支店兩行共に遊金多く投資口なきに苦み之が爲め利率も幾分低落せる狀況に有之候

◎反之獨り勞働者方面にありては鐵道其他の工事の進捗と共に益勞働者の需要を惹起し又一方に於ては過日の風水害にて家屋其他の損傷を受けしもの頗る多く其修繕工事の爲め大工左官等は速かに繁忙を極め仲々の景氣に有之而して平生此等社會に關係を有する諸商賈は孰れも大繁盛を來し稀偏の百年目と相躍し居候

◎當港は過般出水の爲め米の缺乏を來せし以來兎角地方より米の供給捗々しからず加ふるに當港揩業者の持米も漸次減少せる折柄俄に木浦全州及江景地方品拂底の爲め同方面へ向け少からざる地米の移出あり擴て〻加へて在品愈不足を告げ爲めに相場も兩三日來石十四圓二十錢と云ふ前代未聞の高値に沸騰し尙機會だにあらば昇騰せんとするの氣配を示し小賣相場の如き石拔精白一升二十錢に達したれば細民は申すに及ばず一般市民も困難の爲体有之候

◎從來當港に在米拂底の折には何時も仁川より移入して補塡を仰ぎ緩急相救ひしも此度は仁川の相場却て當港より上位にあるを以て事實如何とも難致加之前記の如く木浦及全州方面へは既に四五千叺を持ち去られ而して尙且つ米さへあれば益買ひ進まんとするの氣勢なれば在品薄の折柄相場俄に變調を呈し斯くは奔騰せしものにて需供の原理より推し强ち無理とも思はれず候

◎斯かる狀勢なれば今後米の出廻は差したる增加もなかるべく又米價も出穀期迄は尙一箇月半餘あれば騰貴するも下落するが如きことなかるべく要するに一進一退一高一下は商界の常態今後多少の波瀾は免れざる可きも前途の如く農民一般側米も既に賣り盡せるの觀有之候得ば機敏なる當業者は此際害に外國米の輸入をさへ企畫せるものあり新穀の出廻を見る迄當分米價は蓋し强氣一方ならんかと存候

◎內地に於ては去る十七日より新關稅定率法實施せられ從來の玄米百斤に付六十四錢の關稅は俄に一圓に改定せられたる件に關しては當業者既に了知せらるゝ處に有之候一昨日當港の某商店に達せし東京の最も信ずべき或筋よりの電報によれば『米の移入稅は再び從前の通り六十四錢に引下げられたり』との電文簡にして其實行の期日及期間[illegible]由其解釋に苦しむも思ふにこは今日の米價は殆んど極度に達せるの觀あるより新關稅定率法第六條『米穀の輸入稅は凶作の場合に於ては勅令を以て期間を指定し每百斤四十錢を限度とし之れを低減するを得』に依り所謂凶作の場合と見做し之れを適用したるにあらざるか何れ後報を俟ちて更に詳細御報可致候（未完　笑面生）

公人私人

▲本田靜六（林學博士）三日天眞樓へ

▲小林一生（辯護士）三日巴城ホテルへ

▲植松晋之助（警察醫）三日不知火へ

▲八田吉一郎（水原農業學校敎授）三日水原行

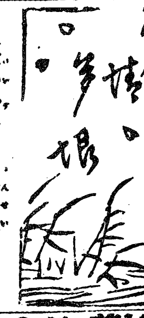
▲津川彌三郎（平壤地方裁判所判事）四日不知火旅館

▲京城手形交換高▼

	金高	枚數
八月四日	一八八、三七九、〇〇〇	四七[illegible]

▲治外法權▼

今次寺內總督の在任日數はイツもよりは永く約九十日を算した、其間道長官を始め、經學院、サテは小學敎員にまで數々の訓示をされたのは御苦勞であつた、併し言ふは易し、行ふは難し、訓示の効果は他日に徵すべきか▲母國內閣の更迭も愈近ヅイたようだ、ソコで一寸心配になるのは我總督の位置だが、ソヤツは陸相の椅子を捨てて專任になされればソレで解決が付くのだ▲內閣が變ると同時に總督政治の遣口にも根本的變改があるべしとは、或人の說だが、ソレは必ずソウなくてはならぬ、考へても見玉へ今の總督政治と新內閣の政綱とがドウして一致するか▲元臺灣日々新聞の社長守屋善兵衛が今度滿洲日々新聞を引受けて獨立經營することになつた、善兵衛は守屋此助の從兄弟で、獨逸語を良くし、新聞經營には獨特の手腕を有する人だ▲聞く滿日紙には是迄滿鐵が隨分金をいれたものだ、併し幾ら入れても足らないのが新聞の金で、今度滿鐵が手を引いて守屋に渡したのは蓋し賢なる措置だ▲序に記す、當地總督府の御用京日紙は今や隆々たる勢ひ恰かも沖天の龍の如し、而かも聞くところに因れば總督府會計のケチなる其出金隆運の費に副はず、稍もすれば輪轉機と內部の火の車とが同時に廻るとの事だ▲不如歸日に倣つて一番獨立してはドウか、ケチな會計に睨まれ睨まれ、其日其日を送つて居るのも決して能でないぞ。



京城 藝妓の半生

清華亭 丸子（四）

左様申すと甚だ恐れ入つた申分ではあるが一次君は少々天保錢であつた、と申しても今の若い方は天保錢なるものは何う云ふものであるかを御存じあるまいが手ツ取り早く申すと天保年間に鑄造せられたもので當時即ち一枚が百文であつたが明治に成つてから八十文即ち八厘になつた百を滿點と見ての八十文であるから二十文即ちの二厘足りない、足りないからに一人前に通用せぬ人間を天保錢などと綽名するに至つたのは明治に入つてから、閑話は休題とする餘りに詰らないから、拐て一次君は平たく申せば普通人間に二分方足りなかつたと申す事た藝妓を買つて居て而して藝妓を買はずに入々に食はれた、所謂「通し花」なるものも彼れには氣が着かぬ、氣の着かぬ筈だ彼れは足りなかつたのだ、當時一次君は勝次君から貸家貸地所の差配を委されて居た從つて地代家賃などは自由になる自由になるからにツイ其の負けがコムと其の方へ手が着く、人間の弱點は即ち此所にある、他人の金錢?ではないが自分に所分權のない金錢でも自分の懷中にある間自分のものゝ如き心持ちになる、纔は氣なりで機が動くと氣が動く、心が動くと迷が生ずる、夫れツイフツと財布の紐へ手が掛る、と最後である、「失策だナ」と思ふ時には自暴が手傳ふ「何うなるものか」と、毒を食はば皿までの量見になる、一次君負がコムので遊ぎ出した「ハテ何うしよう」と火んだ手に觸つたのが地代家賃を入れた財布の紐、將來は自分のものとなるべきものだと手を着けたのが百年目、敷金から前拂金からを合して七千圓の以上夫れでも足らずに拵ねた借金は一萬五千圓に上つた、話は變つて開進亭の小笑捨てられた此の恨み何日かは霽さで置くべきと思ひ込んで居る耳へ入つたのが以上の事情である、可愛さ餘つて憎さが百倍[illegible]此の時ならざ[illegible]養父の勝次君の方へ突つ込んだ、[illegible]も許してある。のだが資本を食ひ込むことは許して無い況んやの夫れが一萬三千圓なんどとは以ての外だと取り調べた結果は事實と、親族會議の議決に依つて一次君は離縁と決したが一先づ呼び戻さねばならぬので使を清華亭へ出した、處が一次君の方へは何君か其の結果を早くも[illegible]で通知したものがあつたので一次君離縁は更らに驚かないが[illegible]事に離縁せられては[illegible]者が行つても歸らないで[illegible]て丸子を相手に遊んで居るが、[illegible]は蛇だ、おつる初め多くの惡玉輩は一次君落城と見て取つて丸子でも引き出されては一大事と注意を加へ[illegible]た、時は四十二年の十二月二十九日の事である。

●慈惠病院の不埒

▽看病人を窘して退院せしむ ▽慈惠か、無情か、冷酷か

新らしき政治が施されて以來新附の民に最も信倚されたのは各地に設けられて居る慈惠醫院であらう、其の醫院も經營者に其の人を得ざれば當初の目的を貫徹することが出來ぬのみならず延ひて一般人民にも[illegible]しむることになる、黄海道海州にある同地の慈惠醫院長は牟田熊彦と謂ふ陸軍醫で常に兎角[illegible]男だ、而しながら若し彼[illegible]するに親切で叮嚀[illegible]あるならば醫師の[illegible]の場合地方人も之を[illegible]彼れには親切忠實を[illegible]もない七月十四日道廳官吏某の妻君が腸窒扶斯に罹つて入院した其時一等室は一日二圓の規定ながら某氏は特に一日[illegible]支拂ひ特別に看護[illegible]又之れを承知した[illegible]日過ぎて院長の牟田は某氏を呼び付け病人が入釜しくて看護婦が殊の外[illegible]るから別に看護人を附けるか又は病人を引取るか孰れか處置[illegible]無き嚴談であつた某氏[illegible]たのである最初規定以[illegible]したのは結局斯様な病[illegible]ある夫れに今更苦情を[illegible]に不埒な院長と思ふた[illegible]病人を抱へて他に手助[illegible]いをなれば只に平謝り[illegible]數と謂ふた處が同月の[illegible]て病人は益々惡徴を呈[illegible]らず彼れ院長は一二十四日迄に必ず退院す可しと[illegible]した茲に於て某氏は病人[illegible]る手不足にて充分看護す[illegible]院に傳染病のとなれば隣[illegible]の人等も來ない誠に奈何[illegible]ぬから何卒現在の儘に[illegible]況んや瀕死の病人に涙を流し之れからは[illegible]話を掛けぬから病院に置[illegible]懇願したのである然るに[illegible]長はナント云ふ無情な冷[illegible]お前の都合は左あらん[illegible]ドーも置く譯に行かぬ[illegible]ツコで某氏も悲憤の極[illegible]哀れなる重病人を家[illegible]監獄醫の治療を受けたの[illegible]る冷遇を卸ち憤りて病勢の險惡なるに加へ一慈惠[illegible]二十九日數限り恨みを懷いて永眠したの[illegible]ややうの亡き骸を携れた[illegible]しき妻の良人は涙と共に[illegible]く京城に來りて鬼の様な[illegible]憤つた心の程思ひ遣るだ[illegible]

●清華亭の大騷動

▽勿驚一奴のドロン

本名を野口ハノ（三八）と申す一奴去三十一日主家より二日間の暇を貰ひ永登浦に行くと云ふて其儘歸らぬとて大騷ぎとなり三日同亭の帳場は下仁し宿屋から[illegible]まで血眼で尋ねて見たれど何て[illegible]情が五百圓もあるんです[illegible]か惡いんでしようと泣き[illegible]に醉つて居れどぞ

●仁川の無錢飲食 原籍島根縣[illegible]町魚町當時鎮南浦番戸不[illegible]中春吉（二八）は去一日午后[illegible]島遊廓七福樓に登樓し酒肴を命じ遊興の後就眠し其儘翌日に至るも目覺まさず熟睡し居たりしが同日午後五時酒肴代請求に及びたる處元より無一文なりしかば無錢飲食として其筋へ告發せられ昨日檢事局送り

●よつて件の如し 兵庫縣人當時永登浦居住小池富藏（三四）は泥醉して三日午後十一時頃大和町二丁目街路に於て壽町松壽旅館止宿長崎縣人李田琢磨の身邊に立ち塞り妨害せし廉にて南部署に於て拘留三日の即決

●京城製粉所の發展 當地水原極通り古川鑛產の經營せる京城製粉所にては二十馬力の發動機を以て試驗的製粉しつゝありしが需用甚だ多く日未だ幾ならざるにも不拘動力の全部を傾注するも尚は不足を告ぐる有様なれば今回英國製新式機械と敷地を買入大擴張をなす由

●日鮮人の喧嘩 埼玉縣人當時初音町一丁目二十四番戸鳶職眞尾清作（二九）は七月三十日午後六時四十分頃明治町三丁目東拓新築工場に於て人夫吉來一（三二）と言語の行違ひより喧嘩を初め毆打負傷せしめ傷害罪として南部署に告訴され目下取調中

●平山牧場の乳牛輸入 當地牛乳トラストに加入せず毅然として獨立せる平山牧場は近來益々發展し從て牛乳の不足を來し爲に今回新に內地より「ベーアシア」種乳牛十數頭を輸入せりと

●賭博 本町九丁目六番戸高村文太（一九）同人方同居人西村幾松（三五）南山町二丁目都旅館止宿正木愛之助（三〇）の三名は外二名と共に三日午後三時頃より高村方に於て賭博を爲し南部署に檢擧され目下取調中

●淨土宗青年會 第三十六回講演會を五日午後八時より明治町開教院に於て開催し左の演講あるべしと云ふ

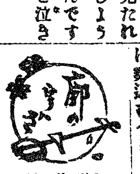
一、文と武　久家開教使

一、一家の健全　會友某

●喧嘩 清國人當時南部貞洞居住菓子商姜錢文（三三）は同國人宋壽壽と喧嘩し毆打負傷せしめ目下取調中

●大相撲平壤乘込

東京大相撲太刀山の一行は去る三日四日の晴天二日間仁川に於て興行を終へ今朝八時五分仁川發急行列車にて平壤に乘込むべし



▲目下増築中の新町病院は本月中旬には落成致す可く樓主連は勿論妓聲が大喜び▲親孝行で名高い京城樓の千代子近々年期明き歸國が出來るを大喜びだが親より大切な人が出來てるから何うだか▲同樓の喜代子は有名な雄辯家一名をヨシヤリとも申し又馬追ひとも申す由ガチヤ〳〵と入釜敷いと云ふことなるべし併し夫れだけありて座敷の斷白いこと▲同樓の愛嬌者入重子は入院を命ぜられしが一寸の間に退院相變らず出もせぬ歯をワザと剝き出して笑つて居る原因は入齒の金を光らせる爲なりとは馬鹿〳〵しい▲日照樓の朝日は全盛なものなり腕がある爲めなり▲同樓の八島は長崎言葉丸出しで通譯が入用なり▲同朝霧は近々年明きとなるに就ては引取人をアレかコレかと詮索中なり思召があれば何うぞ候補に名乘り立ち下さい▲井門の常枝は兄さんが學資を出して大學卒業迄の學資金の調達の爲めの勤め卒公なりと常枝は感心だが兄御は少々馬鹿と見ねたり妹の尻で……ね貴君や▲清月の文之助は流連させるに妙を得て居るとは凄やの凄やの▲同樓のいゝやめは寄さへ見ると私はね每晩電氣の番人なの可愛相と思つて頂戴なねゝ▲入院中の瑞祖は道城病院の表と裏とに二手に分れて營店を致し居る明治町は故に大した繁昌にて今に引手茶屋が出來るだらうと云つた人がある、左様なつたら便利なことに候▲京城券玉家の榮次は土州山の事が忘れられないで二日の夜下仁したるに由なり賣りものに買ひものゝモウ他に好いのが出來て居て張られて戻らねば宜いかと仲間中では心配して居る（廓雀）

●演藝だより

●龍山座 大坂二〇加曾我の家一座の二〇加三つ巴、一代り狂言は忠臣藏、一の谷熊谷陣屋の段、無言の夫婦なりと

●壽座 木村猛夫一行は四日上場の分と同じく「榎の朽穴」全八場なりと

●歌舞伎座 活動寫眞にて其出し物は空中飛行器、盗賊、鋼野ノキッス、橋掛盡、西班牙大闘牛、女天下、魔神の時計、大海賊の末路、巴里の貴公子、肖像畫の行術、自轉車乘逃げ、花輪ダンス

●浪花館 浪花光廣一行の浪花節にて木戸場代共無料なり讀み物左の如し 發れの太刀風（圓遊）天龍川仇討（鶴次）義士銘々傳　黄門西遊記（光廣）



▲京城日報の配付せし角力觀覽券に付ての後悔生君の攻撃に對する小僧君の批評中後悔生君側に對する批評は正鵠を失せり蓋し豫め入場時間に制限を附せざりし以上は開場時間中何時入場するも所持者の自由にして滿員の故を以て入場を拒絶するに至らば即ち配付者が自己の責任を盡さゞりしものと云ふべく所持者に於ては毫末も罪ある事無し元來觀覽券配付者は其配付せし總數に相當の人員を入場せしむ可き義務を負ふものにして縱令事實上場所に制限ありとするも之れが爲めに入場人員に制限ありとするも夫れは當初より配付者の知得する所なれば配付當時其配付の數及入場の設備等に關し配付者の側に於て豫算又は不正の存在すべき事を所持者が豫想せざるは當然の事なるを以て是等の結果の發生に付豫見せざる事を所持者の罪誠は不用意と斷ずるは酷過ぎ可からざるの迷評たり（竹堂）▲敢て申す、京日紙は他も許し自らも許す模範新聞なり（活字の數の多く入ると頁數の多き點に非ず）否組織上模範とよりは師表たらざるべからざる新聞なり、然るに其の價値を上下すべき後悔生の投書は捏造仲間に出でたるものと認めたるを以て小僧は其面目に答ねざりき何んとなれば同社は此際申込まるゝ月極讀者には角力觀覽券を呈すべしと勸誘したるに非ざるべしと信じたればなり、何を以て之を云ふ彼の角力小屋は二千六百を定員とすと、警察署の寛容なる默認を得は或は三千五百を容るべきも如何に危險なる同情を得るとするも四千を超ゆるを得ず此は足下の所謂配付者の知る所なればより以上を勸誘する事ある可らず然るに勸誘せられたりと云ふ後悔生に捏造ならぬ證左なきに於てれや況んや京日社にては當日錦上花を添ゆんが爲めに特に藝妓の總見を催さしめたる程に在京讀者數に比較して場所に餘裕ある見込みなりしと云ふに於てれや（小僧）▲南山町某待合にて久敷鼻下長の牛血を吸ひ居りし高𤔩の內侍ハイカラの廣子は今度情夫と手を取つて鐵原邑內へ落ち行きたりロアングリの旦那は幾人か（無名子）▲職業を索む、多少文筆の心得あり何處にか傭はれたし（姓名在社）▲太刀岡見一行が又來ると好いなアンナ面白い面白い面白い可笑しくつて可笑くつて面白い角力は見ても東京でも見られない（笑門亭福來）▲京城日報社主催の併合紀念提灯行列は誠に好い思ひ付きだ宜敷貴社員も參加すべし（希望生）▲云ふにや及ぶ（小僧）▲京日社の興行角力には八千入つたとよ能く警察で默つてたナア御用紙は鮮いもんだヤイ京城新報眞似も出來めね（へゝへ生）

▲看護婦入用▼

志望者は至急本社仁川支局へ申込まるべし

諸公債諸株券

●現物賣買

迅速確實に御取扱可申候兼業

京城本町三丁目

大阪野村德七代理店 田中友吉商店

千葉縣銚子町 醸造元 岩崎重次郎

最上醤油 山十

京城本町壹丁目 發賣元 三巴商會 電話七五三番

肉エキス葡萄酒（一名ウヰンカーニス）

滋養に富む甘味葡萄酒と滋養なる肉エキスとより醸造せる強壮補血劑なり

京城本町三丁目 龜屋商店 電話二十七番 振貯二十七番

キリンビール

アンチヘブリン

四季のかぜ はやりかぜ ねつ痛一切 づつうの良薬

發賣元 川村資善堂

代理店 京城南大門通三丁目 新井藥房

完全なる健康法は善良なる滋養を得るにあり

蜂印香竄葡萄酒

は佛國葡萄酒の精粹なれば醇良にして佳味日常の滋養劑として最良好適たる事を實地に保證せらる速に飲用あれ

發賣元 東京 近藤利兵衛

梅毒新薬 ブッテ

牛乳大王軍の獨立は斯業界の進歩革命を意味する者なり

朝鮮總督府醫院御用

平山牧場

京城大和町一丁目（電話一三三番）

英國セフヒールド市 ジーボムアンドデイキスタル製鋼會社特約品

鑛山用 道具用 職工用 地球鷲印八角鋼 同角磨鋼 同 鑢各種

右は朝鮮一手販賣権を有し在庫品充分に有之候

和洋金物商 京城本町五丁目 藤本藤次郎本店

眼科專門

前大韓醫院眼科部長

京城本町六丁目 金井眼科醫院

資本金 一千萬圓 積立金 六百〇五萬圓 明治六年設立

株式會社第一銀行京城支店

京城南山町三丁目

銀行一般の業務は確實を旨とし精々御便利に取扱申候

資本金五百萬圓 本店東京市日本橋區呉服町

東京建物株式會社派出所

一土地建物抵當貸附 一月賦償却建物建築

京城旭町二丁目 電話一六八一番

清正 上酒 小賣壹升に付三十錢

釀造元 中井酒造場販賣部

諸公債株券現物及米穀賣買

仁川米穀等極めて迅速確實に取扱ひ

健胃下腹丸

代理店 京城南大門通三丁目 新井藥房

陸軍薬剤官清水如水氏創製

ゼリー

代理店 京城南大門通三丁目 新井藥房

手輕産兒院

入院料一日五十錢

御料理 末廣

M.C.C.

專賣局の定價は百本に付金五圓貳拾錢なるも朝鮮内は大安賣

エムシーシー

酒精アルコール

●新荷着

仁川花町一丁目 坂倉支店

營業項目

牛乳搾取業 家畜飼養繁殖 畜産物賣買 家畜飼料販賣 種牛種付及貸付 其他畜産業一切

京城南大門外 荒井牧場

江華島 荒井第二牧場

優等 清酒

遊漁御案内

仁川用達社遊漁部

朝鮮名產 鶴の骨細工

製造發賣元 海市商會

特製 寶味噌

仁川本町三丁目 たから屋

薄口醤油 や

特約 仁川 高雄 京城 支店

本場精撰 茶

右銘茶各種新物續々入荷に付御不拘御用命願上候

仁川本町四丁目 田中芳春園

瓦斯コークス販賣

酒井組

宅地賣物

菅醫院

定期出帆

瀛船出帆